

環境・エネルギー産業総合支援事業（開発支援事業）補助金

令和4年度当初予算額 3,900万円（R3:3,900万円）

北海道経済部 環境・エネルギー課

事業の内容

事業目的・概要

省エネルギーや新エネルギーの開発・導入に資する製品・サービスを提供する道内の環境・エネルギー産業の振興を図ることを目的に、道内事業者の技術開発や実証研究、道内の環境関連の製品開発や事業化を行う事業を支援をします。

補助対象事業

- 道内事業者の環境関連の技術開発及び実証等を行う事業で、次のいずれかを満たす事業
 - 道内の大学、高等専門学校、公設試験研究機関のいずれかと連携して行う技術開発及び実証研究
 - 道内事業者が有する技術や開発した製品、サービスを核として複数事業者が連携した実証事業等
- 道内事業者が行う環境・エネルギー関連の製品、サービスの開発及び事業化を図る次の事業
 - 製品、サービスの有効性及び環境影響、コスト算定等を目的として行う試作品の作成や改良
 - ①と併せて行う収益性及び販路等のマーケティングを目的として行う市場調査

条件（対象者、補助率等）

限度額(補助率)

道

- 1,000万円(2/3以内)
 - 大学等と連携して行う技術開発、実証研究
 - 複数事業者が連携した実証事業等
- 300万円(2/3以内)
 - 製品、試作品の作成や改良、サービス開発
 - 上記と併せて行う市場調査

- 道内事業者（民間、NPO）
- ①を含む複数事業者の共同体（要コンソ協定）

担当窓口：北海道 経済部 環境・エネルギー局 環境・エネルギー課
環境産業担当 Tel 011-204-5320

事業イメージ（補助対象事業例）

技術や製品・サービスに関する技術開発・実証

環境・エネルギー関連機器（試作品等）の新規開発、実証研究に係る経費を補助します。【1,000万円】

- 積雪寒冷地型ソーラーカーポートの開発
- 太陽光、地中熱ヒートポンプを融合した農業ハウスの開発
- HEMSを活用した高断熱型省エネ住宅の開発、データ取得試験 など



技術や製品の改良、コスト算定、サービスの効果の検証を目的として行う実証

開発した環境・エネルギー関連機器（試作品等）の改良、省エネ性能・発電効果の検証に係る経費を補助します。【300万円】

- 積雪寒冷地型ソーラーパネル・架台の改良、強度・耐用試験
- 積雪寒冷地型 地中熱ヒートポンプの省エネ効果の検証試験
- 強風に適した風力発電機の改良、実証試験 など



道外の有益な製品・技術・サービスを活用し、積雪寒冷地である道内の地域特性に即した事業にするために行う実証・市場調査

道外で開発された技術・製品・サービスを道内に導入するために必要な改良、効果検証のために行う実証試験、市場調査に係る経費を補助します【300万円】

- 積雪寒冷地型EVの開発、走行試験
- 低温時にも蓄電効果が持続する高性能な蓄電池の開発
- 太陽光、風力発電、木質バイオマス等を組み合わせた自立分散型エネルギーシステム実証試験
- 地域密着型小規模発電事業に向けた市場調査 など



電源立地地域対策交付金事業